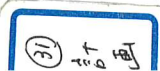




社会福祉法人 八葉会 2019 (平成31)年度 事業計画

| | | | |
|--------------------|--|------------------|-----------------|
| 設 置 名 | 社会福祉法人 八葉会 | 代 表 者 | 理事長 金 永 良 昭 |
| 本 部 所 在 地 | 福山市大門町大門325番地 | | |
| 施 設 所 在 地 | 福山市大門町大門60-2 幼保連携型認定こども園 大門未来園 福山市今津町6丁目2-5 幼保連携型認定こども園 今津未来園 福山市赤坂町赤坂337 赤坂保育所 | | |
| 事 業 目 的 (定 款) | 第2種 社会福祉事業 <ul style="list-style-type: none"> ①幼保連携型認定こども園の経営(大門休日保育含む) (大門・今津) ②保育所の経営 (赤坂) ③一時預かり事業 (大門・今津・赤坂) ④地域子育て支援センター事業 (今津・赤坂) | | |
| 認 可 定 員 | 大門未来園 130名 | 今津未来園 140名 | 赤坂保育所 90名 |
| 利 用 定 員 | 大門未来園 140名(1号含む) | 今津未来園 150名(1号含む) | 赤坂保育所 90名 |
| 1 号 定 員 | 大門未来園 10名 | 今津未来園 10名 | |
| 2 号 定 員 | 大門未来園 75名 | 今津未来園 66名 | 赤坂保育所 57名 |
| 3 号 定 員 | 大門未来園 55名(0歳10名) | 今津未来園 74名(0歳26名) | 赤坂保育所 33名(0歳6名) |
| 理 念 | 智 恵 を 未 来 へ この子にとってより良い環境を創造し、大切な智恵を育てる | | |
| 行 動 指 針 | ○元気に挨拶 明るい笑顔 ○周りをよく見て 進んで行動 | | |
| 信 念 | ○ 子どもが安心して生活できる環境を創る ○ 子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ○ 保護者との信頼関係を大切にし、共に育つ | | |
| 目 標 | 困難に立ち向かえる強さと、人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康な子 ・身のまわりの事を自分でできる子 ・人の思いを感じられる子 ・いきいきと自分を表現できる子 ・自分で考え、進んで行動できる子 | | |
| 平成31年度 計画ポイント | 3施設の各地域の特性を生かし、地域に根ざした活動をしつつ、相互に連携し助け合うネットワークを構築する。 大門未来園と今津未来園は認定こども園として、赤坂保育所は保育所として、ともに高い質の教育・保育を目指す。 大門未来園で7月より休日保育を実施する。 職員の定年の延長を計画をし、満65歳定年制への移行を試みる。 | | |
| 施設整備計画 | 特に予定をしない。法人移管保育所の動向を注視して検討を行う。赤坂保育所の駐車場用地の確保及び今津未来園の学童に対する施設の用地の検討を進める。 | | |
| 理 事 会 | 4回(5月下旬・6月中旬・11月中旬～12月中旬・3月中旬)開催予定。 | | |
| 理 事 会 議 案 | 5月下旬 平成30年度事業報告・決算報告・評議員の増員 6月中旬 理事監事の任期終了・理事長選任 12月初旬 補正予算(第1次)・監事監査同日実施予定 3月中旬 補正予算(第2次)・2020年度事業計画・当初予算 | | |
| 評 議 員 会 | 1回(6月中旬)開催を予定。 | | |
| 評議員会議案 | 6月中旬 平成30年度 決算報告 理事監事の選任 | | |
| 本 部 機 能 | 給料、社会保険料、所得税、市民税など合算しての支出を統括して行う。 職員採用や異動などの人事や経営計画・中期事業計画を作成。 大門・今津・赤坂で理事会・評議員会・経営会議等を開催する。 | | |
| 監 事 監 査 | 年に2回実施予定。5月と12月の理事会前予定。 | | |
| 内 部 監 査 | 相互の施設の職員で実施をする。7～11月に実施。 保育・給食や事務の検証を図る。3施設で3部門に分かれて合計9回実施。 | | |
| 外 部 監 査 | 予定しない | | |

| | | 内 訳 | | | | | | |
|------------------------|--|---------------|-----|-----|-----------------------|---------------|------------|-----------------------|
| | | 合計人数 (換算数) | 園長 | 副園長 | 保育教諭 (主幹保育教諭 含) | 栄養士(調理 員含) | 事務員 その他 | 学校医 学校歯科医 学校薬剤師 |
| 大門未来園 職員数 (4月当初) | 正 規 職 員 | 16.8 | 1.0 | 1.0 | 12.8 | 1.0 | 1.0 | |
| | 常 勤 的 臨 時 職 員 | 6.0 | | | 4.0 | 2.0 | | |
| | 非 常 勤 職 員 | 8.7 | | | 7.6 | 0.7 | 0.1 | 0.3 |
| | 派 遣 職 員 | 0.0 | | | | | | |
| | 合 計 | 31.5 | 1.0 | 1.0 | 24.4 | 3.7 | 1.1 | 0.3 |
| 今津未来園 職員数 (4月当初) | 正 規 職 員 | 16.0 | 1.0 | 1.0 | 13.0 | 1.0 | | |
| | 常 勤 的 臨 時 職 員 | 9.0 | | | 8.0 | 1.0 | | |
| | 非 常 勤 職 員 | 6.1 | | | 3.1 | 1.3 | 1.4 | 0.3 |
| | 派 遣 職 員 | | | | | | | |
| | 合 計 | 31.1 | 1.0 | 1.0 | 24.1 | 3.3 | 1.4 | 0.3 |
| 赤坂保育所 職員数 (4月当初) | 正 規 職 員 | 16.0 | 1.0 | | 11.0 | 2.0 | 2.0 | |
| | 常 勤 的 臨 時 職 員 | 2.0 | | | 2.0 | | | |
| | 非 常 勤 職 員 | 6.2 | | | 3.8 | 1.2 | 1.0 | 0.2 |
| | 派 遣 職 員 | 0.0 | | | | | | |
| | 合 計 | 24.2 | 1.0 | 0.0 | 16.8 | 3.2 | 3.0 | 0.2 |
| 大門未来園の 職員の配置 | 各クラスすべて複数担任とし保育教諭2名ずつ配置する。 0歳から3歳児クラスは、各年齢に必要な保育教諭人数を配置する。 | | | | | | | |
| 今津未来園の 職員の配置 | 各クラスすべて複数担任とし保育教諭2名ずつ配置する。 0歳から3歳児クラスは、各年齢に必要な保育教諭人数を配置する。 年度途中乳児の育休復帰も増えていく予定なので年度中途の職員の採用を募集する。 非常勤職員の常勤化を進めてゆく。 | | | | | | | |
| 赤坂保育所の 職員の配置 | 各クラスに正職員1名と非常勤または臨時職員を1名配置する。 90人定員であるため、担外保育士1名あり。 | | | | | | | |
| 派遣職員 | 3園とも当初は予定をしない。 | | | | | | | |
| 職員採用計画 | 6月から採用試験を毎月第3土曜日に各園持ち回りで実施。保育教諭(保育士)4~7人栄養士1人の採用を希望 | | | | | | | |
| 休 暇 | 年間有給休暇取得率の向上を図るため、今年度も有給休暇の計画付与を行う。 平均取得率を年間有給保有日数14日~20日の職員は100%を目標にする。 10日~14日の職員も90%以上を目論む。(1年目を除く) このために8月お盆および年末年始に計画付与を5日~7日実施。3ヶ月ごとに2~4日程度の有給休暇を勧奨を行う。 | | | | | | | |
| 出 向 | 予定しない | | | | | | | |
| 法 人 移 管 | 公募があった場合は移管の立地と資金等を勘案して積極的に検討。 | | | | | | | |



| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---------------------------|---------|---------|-------------|----------------|---------|---------|--|
| 保 育 日 数 | 保育日としては、4月1日から3月31日の月曜日から土曜日を、日曜日・祝日を除き全日開所する。 | | | | | | | | |
| 2号・3号認定 保 育 時 間 | 開 所 時 間 | 月曜日～土曜日 | | | 07:00～19:00 | | | | |
| | 設 定 保 育 時 間 | 月曜日～土曜日 | | | 08:30～16:00 | | | | |
| | 標準時間延長保育時間 | 月曜日～土曜日 | | | 18:00～19:00 | | | | |
| | 短時間延長保育時間 | 月曜日～土曜日 | | | 07:00～08:00 | | | | |
| | 〃 | 月曜日～土曜日 | | | 16:00～19:00 | | | | |
| 1号認定 保 育 時 間 | 開 所 時 間 | 月曜日～土曜日 | | | 07:00～19:00 | | | | |
| | 設 定 保 育 時 間 | 月曜日～金曜日 | | | 09:00～13:00 | | | | |
| | 預 かり 保 育 | 月曜日～土曜日 | | | 07:00～9:00 | | | | |
| | 〃 | 月曜日～土曜日 | | | 13:00～19:00 | | | | |
| 年間行事予定 | 3園年間行事計画(別紙1) | | | | | | | | |
| 保 育 の 計 画 | 大門未来園(別紙2) | 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 | | | | | | | |
| | 今津未来園(別紙3) | 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 | | | | | | | |
| | 赤坂保育所(別紙4) | 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 | | | | | | | |
| 保 育 の 連 合 | 大門未来園(別紙5) | 連合【0歳から就学までの一貫した育ちを見通し策定】 | | | | | | | |
| | 今津未来園(別紙6) | 連合【0歳から就学までの一貫した育ちを見通し策定】 | | | | | | | |
| | 赤坂保育所(別紙7) | 連合【0歳から就学までの一貫した育ちを見通し策定】 | | | | | | | |
| 措 置 児 童 数 (予 測) | 年 齢 | 大門未来園<内1号(11名)> | | | | 今津未来園<内1号(9名)> | | | |
| | | 4月 | 10月 | 3月 | | 4月 | 10月 | 3月 | |
| | 0 歳 児 | 3 | 14 | 18 | 0 歳 児 | 6 | 16 | 24 | |
| | 1 歳 児 | 18 | 21 | 23 | 1 歳 児 | 25 | 26 | 26 | |
| | 2 歳 児 | 25 | 26 | 26 | 2 歳 児 | 22 | 23 | 24 | |
| | 3 歳 児 | 26(1) | 27(1) | 27(1) | 3 歳 児 | 22(1) | 22(1) | 23(2) | |
| | 4 歳 児 | 28(4) | 28(4) | 28(4) | 4 歳 児 | 24(1) | 24(1) | 24(1) | |
| | 5 歳 児 | 26(6) | 26(6) | 26(6) | 5 歳 児 | 28(7) | 29(8) | 29(8) | |
| | 合 計 | 126(11) | 142(11) | 148(11) | 合 計 | 127(9) | 140(10) | 150(10) | |
| | 年 齢 | 赤坂保育所 | | | | | | | |
| | | 4月 | 10月 | 3月 | | | | | |
| | 0 歳 児 | 4 | 7 | 8 | | | | | |
| | 1 歳 児 | 15 | 16 | 16 | | | | | |
| | 2 歳 児 | 16 | 16 | 16 | | | | | |
| | 3 歳 児 | 20 | 20 | 20 | | | | | |
| | 4 歳 児 | 21 | 21 | 21 | | | | | |
| | 5 歳 児 | 26 | 26 | 26 | | | | | |
| 合 計 | 102 | 106 | 107 | | | | | | |

| | | |
|----------------------|--|------------------------------|
| 施設経理区分 歳出計画 | 支出 | |
| | 人件費 | 70%に抑制することを指標とする。(目標としない) |
| | 正規職員給料 | 職員給与規程に基づいて支給する。 |
| | 時間外手当 | 概ね昨年水準の時間数を算定基礎とする。 |
| | 期末勤勉手当 | 2ヶ月分を予算計上(毎月0.1667ヶ月分を引き当てる) |
| | 処遇改善加算Ⅰ・Ⅱ | 交付金の額に対応した額を支給する。 |
| | 臨時職員 | 臨時職員任用規程に基づいて支給する。 |
| | 派遣職員 | 今年度は予算額を減らして計上 |
| | 事業費支出 | |
| | 給食費 | 保育単価に定められた金額に準拠する。 |
| その他 | 実績を踏襲する。 | |
| 固定資産取得 | 大門砂場の枠設置(20万) 今津 本柵(50万) 赤坂 倉庫(70万) | |
| 本部繰入金 | 拠点区分すべてから15万円を本部繰り入れとする。 | |
| 借入金償還 | 機構からの借入金の償還をおこなう(3施設)・赤坂は上之坊へ300万程度の返済を行う。 | |
| 積立金積立 | 建物減価償却分を中心として施設整備として積極的に積立。 | |
| 本部経理区分 | 理事会および評議員会、理事・監事研修の費用を計上する。 | |
| 児童健康管理 | 医科健診・歯科健診 | … 年2回実施 |
| | 尿検査 | … 年1回実施 |
| | 身体測定 | … 月1回 |
| | 福山市保健師による聴力・視力検査 | … 4歳児 |
| | 日本スポーツ振興センター加入 | |
| 職員処遇 | 就業規則、職員給与規程及び臨時職員任用規程にて処遇する。 | |
| 研修体制 | 職員と管理職が面談して、個人の研修計画を策定。これに応じて研修を実施する。 | |
| 職員研修 offJT | 子ども達とともに自らも成長しようとする自己啓発意欲のある職員、そして組織人として職員間の連携を深め自らの持つ資質と個性を生かして子ども達の最善の利益のために日々取り組む事の出来る職員を育成するため各人の作成した個人研修計画に基づき効果的なOFF-JTを取り入れる 今年度は音楽的な研修を充実させるため、百万石研修を実施。ただし、補助金申請を広島労働局には行わず、自主事業とする。 | |
| 人事考課 | 360°評価を実施をし、その結果を人事考課に反映させる。理念研修に併せて実施。管理職に別途の評価も実施。 | |
| 職員健康管理 | 健康診断年1回(内科)、 腸内細菌検査(職員年4回、施設長・副所長・副園長・調理員・乳児担当・主幹・主任・副主任・フリー月1回) 希望者には精密診断を実施(ソウエルクラブ補助金などの利用) | |
| 福利厚生 | ソウエルクラブに加入 職員旅行を実施する。補助金として2分の1を限度として補助をする。 | |
| 職員会議 | 毎週火曜日大門未来園で実施 毎週水曜日今津未来園で実施 毎週木曜日赤坂保育所で実施 | |
| 保育会議 (個のケース会議を含む) | 大門は毎週水曜日に実施しケース会議も行う。 今津は毎週月曜日に実施 赤坂は不定期とし、ケース会議は職員会議で行う。 | |
| イマコそ会議 | インシデント・マニュアル・エコ・その他の会議の総称 大門は金曜日の申し送りの終了後、今津は毎週金曜日に実施、赤坂は不定期に実施 | |
| 給食会議 | 月1回、給食職員全員およびその他職員にて実施。給食と食育の検討など、納入業者とも年2回会議をする。 | |
| 火災総合訓練 | 年2回実施 | |
| 防犯訓練 | 年3回程度実施 | |
| 自主点検 | 年に4回、建築物・火気使用、設備器具・電気設備器具・危険物施設について担当職員が点検する。 | |
| 法定点検 | 年1回、外観点検・機能点検で、消火器具・避難設備器具・警報設備器具の種別で点検を依頼する。 | |

| | |
|---------------------|--|
| 保護者連携 | 保護者会の運営(総会・役員会・園行事への参加)・アンケートの実施 家庭訪問(希望者)・個人面接・保育参観・給食参観・懇談会・講演会の開催 月1回 園だより/クラス便り・お便り帳の記入 |
| おもちゃサロン | (大門未来園のみ)大門町福祉を高める会共催 毎月1回 子育て支援室を開放して実施する。 |
| ほいくの園 | 市内の9保育所・園と共催し、月1回程度実施する。 毎月200名程度の利用を見込む。(大門未来園のみ参加) |
| 衛生管理 | 担当職員を指名し、責任所在の明確化を図る。 ノロウイルス等の対応として、ピューラックスの使用をマニュアルに基づいて全員実施する。新職員・中途職員(事務・給食も含む)についても実施する。頭シラミの対応策を練る。給食室のオゾン発生器やおもちゃ殺菌庫の利用を積極的に推進する。 毎月定期的に行なっている害虫駆除を継続する。 |
| 苦情 | 担当職員を指名し、責任所在の明確化を図る。 園の質向上のため、職員個人が問題を溜め込むのではなく、全職員が共有して問題解決に取り組んでいく。 そのための、組織力を強化していく。苦情・インシデントマニュアルを作成。 |
| 個人情報 | 担当職員を指名し、責任所在の明確化を図る。職員・園児の名簿や書類等(書庫の中の書類)の管理をマニュアル通り徹底する。USB等の電子機器による管理をマニュアル通り管理する。 |
| 中期事業計画 | 平成29年度を初年度とする第3次中期事業計画の第3年目。中間見直しを実施。期間は4年間。 |
| 指 針 | 保育指針の改定により変更点を検証し定着を目指す。理念や目標の徹底を行い、明確化と浸透を図ってゆく。 |
| 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 | 園児の入所・入園から終了までの目的や目標に向かってどのような道筋をたどって教育及び保育の進めていくかを明らかにし、園児の充実した生活が出来るように作成する。また、教育・保育要領に基づいた年間指導計画を作成して、月案・週案において具体化していく。 |
| 食育計画 | 平成30年度の実績を反省しより効果的な食育を進める。保育計画との整合性を保証して、効果を検証する。 |
| エコ活動 | イマコそ会議による省エネルギー活動を中心に行う。 |
| 第三者評価 | 平成29年度実施の第三者評価の結果をもとに、グループに分かれ自己評価をしていく。次回は2021年度に広島県社会福祉協議会の福祉サービス評価調査を受審する予定である。 |
| 地域との連携 | 子育てサークル開催(大門週1回/給食体験・リトミックなど)(今津・赤坂は週3,4回)・ほいくの園へ参加(大門)、デイケアハウス訪問(大門年2回・今津・赤坂年1回)、福祉を高める会と共催行事<とんどの実施>(大門)、幼年消防クラブ活動(大門・今津)、園行事への地域住民の招待【夜店・運動会・言語発表会・音楽発表会・ひな祭り会等】(大門・今津・赤坂)、地域行事への参加(夏祭り・敬老会・運動会)(大門・今津・赤坂)、おもちゃサロン共催(福祉を高める会)(大門)・防犯訓練(東警察署・西警察署)(大門・今津・赤坂)、防火訓練(東消防署・今津消防署・西消防署)(大門・今津・赤坂)・公民館との連携<子育て講演会・絵本読み>(大門・今津・赤坂)ふれあいひな祭り会(民生委員協議会との交流)(大門)・大津野・今津・赤坂の各小学校と交流(大門・今津・赤坂)防火パレードへの参加(今津)、JA今津支店農業体験(今津) |
| 公民館連携 | 大門公民館、今津公民館、赤坂公民館のいずれも園のすぐそばにある。公民館長には苦情処理第三者委員を依頼しており、地域との交流の中核を担っていただいている。すべての公民館とも、外部の意見をお伺いできる組織として、積極的に交流を図り、保育内容に反映をさせてゆく。 |
| 育児相談 | 基本として毎週水曜日、在園児であるなしを問わず育児相談を実施する。 園長・副園長および主幹保育教諭で対応する。ケースによっては、子育て支援課やこども家庭センターなどとも協力をしてゆく。 |
| 今年の問題点 | 新規職員採用(保育士不足対策) 管理職の後継問題 職員間の連絡や統一性 |

